

初めに UFO-96 について

GV. GVII. GVIII. G7. 兼用取説

より簡単に皆様に使ってもらうために、従来のSFXとUFOをドッキングさせ、なおかつ最高プログラムとして完成させました。今までは、考えられない機能と操作性で過去にSFXだけを使っていた方も、SFXと操作上ほとんど変わりなく使えます。

回覧

グループで新機能をお試ください。

- ☆ ニューバージョン ボンタン機能、ほとんど無線を知らない方に。
- ☆ ニューバージョン 移動電話受信（30CH自動メモリー・制御CHジャンプ方式）
- ☆ パーソナルCH監視機能、移動電話受信中にクラブCHが使用されれば、そのCHに移行します。
- ☆ ニューバージョン パトリオットIII、クラブCHが使用されていない状態で、この機能をONしておけば電波のつながる範囲に仲間がいることを音と表示で知らせる。
- ☆ PTTタイム表示 送信している無線機にPTT、ONしてからの時間がわかり、UFO96を使用している相手にも30秒間隔でタイム表示が送られます。

重要

必ず免許申請をして免許ロムを装着し、なを地下バンドを使用しないで下さい。



基本操作関係	HOLDの各機能一覧	-3-	-4-	-5-
	スペシャルの入り方	-6-		⑩
	ノーマルへの戻し方	-9-		①
		-6-		⑨
	CHの入れ方	-9-		②
		-6-		③
	待ち受けのセット	-9-		③
		-6-		⑥
	バンドの切り替え	-9-		④
		-6-		C ⑤
特殊群番号の打ち方	-9-		U ⑤	
	-9-		⑥	
CHメモリーの仕方	-10-		⑦	
一分間通話モード	-10-		⑩	
10CH プライオリティー・リアルタイムオリティー	-10-		⑫	
☆ CHT (ボンタン) 簡単操作	-6-			
待ち受け関係	全モード待ち受け	-11-		①
	全群番号待ち受け	-11-		②
	Eコード待ち受け	-11-		③
	免許番号待ち受け	-11-		④
スキャン関係	縦スキャン ・ 逆スキャン	-10-		⑩
	スキャン スピード	-22-		①
		-12-		①
	全モードスキャン	-12-		②
	空きCHサーチ	-12-		③
	CHメモリースキャン	-12-		④
指定バンドスキャン (NEW MARIO II)	-12-		⑤	
リコール関係	PTTリコール	-13-		①
	タイマーリコール	-13-		②
	多群番号一括リコール	-13-		③
	切断信号自動リコール	-13-		④
	指定バンドリコール (NEW MARIO II)	-13-		⑤
カット・解読	ATIS信号カット	-13-		⑥
	タイマーカット	-14-		⑦
	群番号解読	-14-		⑧
リザーブ関係	リザーブ機能 (30CHメモリー) (SFXタイプ)	-14-		
	リザーブ群番号での待ち受け	-15-		①
	自動リザーブ	-15-		②
	全群番号リザーブ	-15-		③
	スペシャルサーチリザーブ	-15-		④
スペシャル難	☆ 移動電話受信 (30CH自動メモリー・制御CHジャンプ方式)	-7-		
	☆ 移動電話受信中パーソナルCH監視機能 (新機能)	-7-		5
	☆ 自動閉局・メンCHアラーム (パトリオット機能 I・II・新機能III)	-11-		⑤
	5分間無変調防止機能	-14-		⑨
	UFO-96 ディスプレー ON/OFF	-14-		⑩



免許番号に関係

☆ PTTタイム表示 (新機能)	-16-	①
群番号吸い取り	-16-	②
業務向け拡声器	-18-	⑩
切断信号の送出・待ち受け ON/OFF	-19-	⑭
アポロ機能 I・II	-21-	③
使用CH数表示機能	-22-	②
PTTON一時PA	-22-	③
群番号表示とCH表示の切り替え	-22-	④
CBロック	-22-	⑤
免許番号待ち受け	-11-	④
免許番号吸い取り	-16-	③
免許番号を自局に戻す	-16-	④
相手局の免許番号表示	-16-	⑤
免許番号を作る	-17-	⑦
自動免許番号表示	-17-	⑧

☆ 自動免許番号吸い取り発射 (申請済み番号のみ)

☆ 地下モード自動免許番号出さない機能

UFO特殊機能

クロスバンド機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
ベル機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
UFO機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
スペースシャトル機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
ボイジャー機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
アポロ機能セット、	待ち受け	ON/OFF	-5-	A
クロスバンド通信			-5-	B
トーンスケルチ通信			-5-	B
トーンスケルチ・クロスバンド通信			-5-	B
UFO通信			-5-	B
スペースシャトル通信			-5-	B
ボイジャー通信			-5-	B
ポケットベル機能			-5-	C

基本機能

動作音の変更	-17-	②③
送信出力及び受信感度切り替え	-18-	⑥
通話モード切り替え	-18-	⑦
80CH ⇄ 158CH切り替え	-18-	⑧
フィーバーゲーム	-18-	⑨
PA	-18-	⑩
ストップウォッチ	-19-	⑫
目覚ましアラーム	-19-	⑬
操作ボード	-23-	

HOLD機能一覧

HOLD + 1 + <input type="text"/>	→ 待ち受けに関する機能	
+ <input type="text"/> 1	→ 全モード待ち受け	-11- ①
+ <input type="text"/> 2	→ 全群番号待ち受け	-11- ②
+ <input type="text"/> 3	→ Eコード待ち受け	-11- ③
+ <input type="text"/> 4	→ 免許番号待ち受け	-11- ④
+ <input type="text"/> 5	→ 自動待ち受け、NEW バトリオット I、II、III	-11- ⑤
HOLD + 2 + <input type="text"/>	→ モニタースキャンに関する機能	
+ <input type="text"/> 1	→ スキャンスピード	-12- ①
+ <input type="text"/> 2	→ 全モードスキャン	-12- ②
+ <input type="text"/> 3	→ 空CHサーチ	-12- ③
+ <input type="text"/> 4	→ メモリースキャン	-12- ④
+ <input type="text"/> 5	→ 指定バンドスキャン S/R	-12- ⑤
HOLD + 3 + <input type="text"/>	→ リコールに関する機能	
+ <input type="text"/> 1	→ PTTリコール	-13- ①
+ <input type="text"/> 2	→ タイマーリコール	-13- ②
+ <input type="text"/> 3	→ 多群番号リコール	-13- ③
+ <input type="text"/> 4	→ 切断信号 ⇒ 自動リコール	-13- ④
+ <input type="text"/> 5	→ 指定バンドリコール S/R	-13- ⑤
HOLD + 4 + <input type="text"/>	→ カット機能 ON/OFF	
+ <input type="text"/> 1	→ ATISカット	-13- ⑥
+ <input type="text"/> 2	→ タイマーカット	-14- ⑦
+ <input type="text"/> 3	→ 群番号解読カット	-14- ⑧
+ <input type="text"/> 4	→ 5分間無変調	-14- ⑨
+ <input type="text"/> 5	→ UFO流れ表示	-14- ⑩
HOLD + 5 + <input type="text"/>	→ リザーブに関する機能	
+ <input type="text"/> 1	→ リザーブ群番号の待ち受け	-15- ①
+ <input type="text"/> 2	→ 自動リザーブ	-15- ②

- + 3 → 全群番号リザーブ ----- -15- ③
- + 4 → スペシャルサーチ ----- -15- ④

HOLD + HOLD + → 免許番号に関する機能と群番吸い取り

- + 0 ~ 9 → 群番号吸い取り ----- -16- ②
- + HOLD → 免許番号吸い取り ----- -16- ③
- + MON → 自局免許番号表示 ----- -16- ④
- + CALL → 相手の免許番号表示 ----- -16- ⑤
- + C → 免許番号を自局に戻す ----- -17- ⑥
- + M → 自動免許番号表示 ----- -17- ⑧

HOLD + CALL + → 音とノーマル機能

- + 1 → 0.2W (RX L) ⇔ 5W ----- -18- ⑥
- + 2 → 80CH ⇒ 1分 ⇒ LOCAL ----- -18- ⑦
- + 3 → 80CH ⇔ 158CH ----- -18- ⑧
- + 4 → フィーバーゲーム ----- -18- ⑨
- + 5 → PA ----- -18- ⑩
- + 6 → 業務的拡声器 ----- -18- ⑪
- + 7 → ストップ ウォッチ ----- -19- ⑫
- + 8 → 目覚ましアラーム ----- -19- ⑬
- + 9 → 動作音 大 ----- -17- ②
- + 0 → 動作音 小/無 ----- -17- ③
- + M → モニタースキャン音 ON/OFF ----- -18- ④
- + C → 他群番号警告音 ON/OFF ----- -18- ⑤
- + CALL → 切断信号 送・受 ON/OFF ----- -19- ⑭

HOLD + 6 → PTTタイム表示 ----- -16- ①

HOLD + MON → CB CHメモリー記憶 ----- -22- ⑤

HOLD + M → CBロック ----- -22- ⑤

UFO 特殊機能操作

特殊機能待ち受け ON/OFF

→ **HOLD** + **SHIFT** +

クロスバンド通信 待ち受け ON/OFF ----- → + **C**

ベル機能 待ち受け ON/OFF ----- → + **M**

UFO (秘話) 通信 待ち受け ON/OFF ----- → + **MON**

スペースシャトル通信 待ち受け ON/OFF ----- → + **HOLD**

ボイジャー通信 待ち受け ON/OFF ----- → + **CALL**

アポロ通信 待ち受け ON/OFF ----- → + **END**

UFO特殊機能

→ **HOLD** + **SHIFT** +

クロスバンド通信 ----- → + + -19- ①
(0 ~ 4)

トーンスケルチ通信 ----- → + **5** -19- ②

トーンスケルチ クロスバンド通信 ----- → + + -20- ③
(6 ~ 9)

UFO (秘話) 通信 単モード ----- → + **SHIFT** -20- ④

UFO (秘話) 通信 ダブルモード ----- → + **REMOTE** -20- ⑤

UFO (秘話) 通信 フォースモード ----- → + **PTT** -20- ⑥

スペースシャトル (秘話) 通信 ----- → **SHIFT** + **HOLD** -21- ①

ボイジャー (秘話) 通信 ----- → **SHIFT** + **MON** -21- ②

アポロ I (秘話) 通信 ----- → **送信中** + **マイクEND** -21- ③

アポロ II (秘話) 通信 ----- → **送信中** + **本体 END** -21- ③

その他機能

ポケットベル 機能 ----- → **M** + **C** + (0~9) -21- ④

新機能 PTT タイム表示 ----- → **HOLD** + **6** 表示 **T-DSP** -16- ①

CHT (ボントン) III 取扱説明

①. UFOからCHT (ボントン)

待ち受け中 → マイク **END** 約5秒間押し続ける → **ビープ音と横線が右から左に流れる** → 表示 **CHTYP**
※ 但し 特殊群番号及びメモリー0と9は、CHタイプに入れませんが、メモリー1～8でセットして下さい。

②. CHTからUFO

待ち受け中 → マイク **END** 約5秒間押し続ける → **ビープ音と横線が左から右に流れる** → 表示 **群番号**

③. CHセットの仕方

80CHモードの時 → 2桁のキー入力でそのCHに移動できます (例) **2** + **3** 23CH

158CHモードの時 → 3桁のキー入力でそのCHに移動できます (例) **1** + **2** + **3** 123CH

④. 携帯電話盗聴 の仕方

CALL + **CALL** → **C TEL** 表示後、スキャン始めます

受信終了は **END** キー

※ 詳しくは、携帯電話盗聴ページを参照

⑤. バンド アップダウン

バンドダウン **HOLD** (小窓にFが点滅中) + **2** キーを押すと連続的にモードがダウンします

バンドアップ **HOLD** (小窓にFが点滅中) + **5** キーを押すと連続的にモードがアップします

⑥. 待ち受けのセット/リセット

リセット中 マイク **SHIFT** を押しながら + **数字** キーで ON/OFF

⑦. 群番号の書き替え方

C + **5桁の群番号** (例) **C** + **1** + **2** + **3** + **4** + **5** で
表示 **12345**

⑧. 群番号メモリー変更

M + **数字** キーで (例) **M** + **3** でメモリー3

⑨. ノーマルに戻し方

数字 キー (1 ~ 9) を 4キー同時に押す

⑩. スペシャルに戻し方

リセット中 **HOLD** + **REMOTO** + **C** + **5桁の暗証番号**

移動電話受信機能

1. 移動電話受信への入り方

リセット中・・・ **CALL** + **CALL** 表示 **C_TEL** 1秒表示後、電話受信を始めます。

※ パーソナルの待ち受けに戻し方

スキャン停止中 **END** キーでパーソナルの待ち受けに戻ります。

2. スキャン停止

全てのキーでスキャン停止します。

3. スキャンの種類

MON キー スキャン・・・・・・ 電話の周波数帯を通常スキャンします。

M キー スキャン・・・・・・ 30CHメモリーをスキャンします。 表示 **--≡** 記憶された
CHが無ければ **-----** を表示して、通常スキャンします。

4. スキャン停止中の各機能

- (1) 電話メモリーへの記憶（自動）・・・傍受していた電話が切れると、自動的電話メモリーに記憶してして再スキャンします。
- (2) 電話メモリーへの記憶（手動）・・・電話傍受中、**7** キーを押すと手動で電話に記憶されます、30CHメモリー全てが記憶されると、1番古い記憶が書きかえられます。
- (3) 電話メモリーの取り消し・・・・・・ **8** キーにより記憶が取り消されます。記憶されていないメモリーCHを取り消すと、**-----** が表示されます。

5. 電話受信中のパーソナルCH監視（新機能）

C_MEMO 点灯しながら、15秒に1度パーソナルのCHを監視します（CHメモリー）その時、CHメモリー1が使用CHなら、C_MEMOが点滅に変わり、15秒間そのCHをモニターし、この間キー入力がなければ自動的電話受信に戻ります。C_MEMOは点灯に変わります。

☆ パーソナルCH監視中（C_MEMO点滅中）のキー機能

HOLD キー・・・・ 15秒間経過しても、そのままパーソナルのモニターし続けます。

MON キー・・・・ 電話に戻ります。

PTT キー・・・・ 1度目のPTTキーで、電話受信からぬけ、2度目のPTTキーで送信します。

0	キー CH監視機能の ON/OFF 点灯で機能ON。	
1	キー CHメモリー1の監視タイムを 30秒にします。	表示 - 30-
2	キー CHメモリー1の監視タイムを 1分にします。	表示 - 60-
3	キー CHメモリー1の監視タイムを 3分にします。	表示 -180-

6. 電話受信のスキャンバンドの設定

スキャン停止中、CALL + スキャンさせたいバンド (1 ~ 6) 数字キーで設定できます。表示は待ち受け表示と同じ 1. 2. 3. A. B. Lが点滅します。Aはバンド4、Bは5、Lは6、の各バンドに対応します。END キーか2秒経過後に点滅に変わり、スキャンするバンドが確定します。バンド0はセット/リセットできませんが、スキャンします。REMOTE キーで設定バンドはそのまま、バンドスキャンそのものをセット/リセットします。 表示 _SET_ / _RET_

7. キー機能一覧

- 0 キー パーソナルのCH (CHメモリー1) の監視 ON/OFF
- 1 キー 電話のCHを1CHダウンします。メモリースキャン中は1メモリーダウンします。
- 2 キー 電話のバンドを1バンドダウンします。
- 3 キー 電話のCHを1CHアップします。メモリースキャン中は1メモリーアップします。
- 4 キー 電話のCHをハーフCHダウンします。
- 5 キー 電話のバンドを1バンドアップします。
- 6 キー 電話のCHをハーフCHアップします。
- 7 キー 現在聴いてるCHを電話の30CHメモリーに記憶します。
- 8 キー 現在聴いてるCHを電話の30CHメモリーから取り消します。
- 9 キー 80CH / 158CHの切り替え
- C キー 電話が切れた後通常は0.5秒で自動スキャンしますが、2秒後のスキャンに切り替え
- M キー 電話記憶メモリーのみをスキャンします。
- HOLD キー 現在聴いている電話CHに固定します。M キー又はMON キーで再スキャンします。
- MON キー 電話のCHを入感あるまで1CHづつUPスキャンします。
- CALL キー スキャンバンドを設定します。

UFO96 ニューエンペラー 取り扱い説明書

基本操作関係

① スペシャル機能の入れ方

MONキーを押してCHが表示されれば、すでにスペシャル状態になっています、ノーマル状態からスペシャルにしたときは、下記の操作を行なって下さい。

HOLD + **REMOTE** + **C** + **暗証番号** ⇒ **UFO96** 点滅表示します。

② ノーマル機能への戻し方

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、下記の操作をするとノーマル機能に戻ります。

※ 注意（暗証番号を忘れると、再度スペシャルにならなくなります。）

1 ~ **9** の数字キーを同時に4キー以上押す ⇒ **ノーマル機能**

③ CHセットの仕方

例 50CHをセット **C** + **5** + **0** + **MON** ⇒ **50**

例 123CHをセット **C** + **1** + **2** + **3** + **MON** ⇒ **123**

④ 待ち受けセットの ON/OFF

リセット中 **SHIFT** キーを押しながら 1 ~ 9 のボタンを押すと、画面左下の 1~E の点灯/消灯

例、1 ~ 3 ランプ点灯は、メモリー 1 ~ 3 待ち受け（消灯数字は待ち受けなし）

A ⇒ 4とA-COD 待ち受け

B ⇒ 5とB-COD 待ち受け

L ⇒ 6とL-COD 待ち受け

H ⇒ 7とH-COD 待ち受け

P ⇒ 8とP-COD 待ち受け

E ⇒ 全群番号 待ち受け

最後に表示した群番号は（リセット中）は上記に関係なく、待ち受けの状態になります。

⑤ バンド アップダウン

バンドダウン **2** キーを押すと連続的にバンドダウンできます

バンドアップ **5** キーを押すと連続的にバンドアップできます

⑥ 特殊群番号の打ち方

0 ~ 9の数字以外の特殊群番号が打てます。 **C** に続く次のキーです。

CALL ⇒ A HOLD ⇒ B M ⇒ C マイクEND ⇒ D
 SHIFT ⇒ E REMOTE ⇒ F

⑦ CHメモリーの仕方

グループなどよく使うCHを記憶しておくメモリーで、0～9の10メモリーあります、ここで記憶されたCHメモリー1は 電話受信中のパーソナルCH監視（新機能）、CHメモリー0～9はプライオリティ・CHメモリースキャン・スペースシャトルで呼び出されます。

※ 現在使用している、CH・バンド・群番号・モード（80/158、1分間、LOCAL、0・2W/5W）などを CHメモリー番号（0～9）に記憶できます

M + HOLD ⇒ 表示 SET _ + メモリー番号（0 ～ 9）

⑧ CHメモリーの呼び出し方

M + CALL ⇒ 表示 JP _ + メモリー番号（0 ～ 9）

⑦で記憶されたCHメモリーが呼び出され受信状態になります。

⑨ CHメモリー発呼の仕方

CALL + メモリー番号（0 ～ 9）

⑦で記憶されたCHメモリーで発呼し通話状態になります。

⑩ 縦スキャン

2 又は 5 キーを1秒以上押すとCHは同一でバンド 0 ～ 9 をスキャンし使用CHで止まります

2 又は 5 キーで止めて MON キーを押すと再度、縦スキャンを始めます。 それ以外のキーで止め

MON キーを押すと通常のスキャンを始めます。

⑪ 一分間通話機能

送る側も受ける側も一分間しか通話出来ません、一分後自動的にリセットされます、業務用通信としても幅広く使用大変便利です

※ UFO96のメモリー0は自動的に一分間通話になります。

⑫ 10CH プライオリティー・リアルタイム

待ち受け又は受信中 SHIFT をチョイ押しで A 1～5 次のチョイ押しで B 6～0 のCHメモリー

（⑦で記憶した）使用中であるか確認出来、その0～9数字を押せばメモリーCHに移動出来ます。

例) 待ち受け又は受信中 **SHIFT** をチョイ押し 表示 **A_23_5** メモリー2. 3. 5.
表示 **B_6_8_** 6. 8 が 使用中

プライオリティフライト

プライオリティ表示中 0~9 を押すとそのCHをモニターします、再度 **SHIFT** キーでもとに戻ります
END キーで、プライオリティに入る前の状態に戻ります。

PTTキーで CH・バンド・群番号がセットされ受信状態に入り再度PTTで送信に入ります。

待ち受け関係

① 全モード待ち受け

HOLD + **1** + **1**

リセット中、全モードにおいて待ち受けします、相手側は連続リコールが必要 UFOのマリオ II 機能では
必要なし (マリオ I と II 機能同時にセットされると、I が優先されます)

② 全群番号待ち受け

HOLD + **1** + **2**

呼び出し、リコールを行なって全ての群番号に対して、待ち受けを行ないます。免許番号待ち受けと同時にセット
した場合、免許番号待ち受けの方が優先されます。

③ Eコード待ち受け

HOLD + **1** + **3**

Eコード待ち受け。

④ 免許番号待ち受け

HOLD + **1** + **4**

待ち受け中 表示 **ATIS**

リセット中、自局の免許番号と同じ局にだけ呼び出しを受け付けます。(群番号に関係なく)

⑤ バトリオット I II III (自動待ち受け・自動検索)

HOLD + **1** + **5**

ON時 READA点減

表示 **AUTO** 1秒 表示後群番号

- I. 機能をセットして待ち受けると、同一群番号の UFO7・UFO8・UFO9・UFO96が管内に入ると自動
開局します。
- II. 機能をセットしてプレストークすると、同一群番号の UFO7・UFO8・UFO9・UFO96が管内にいな
ければ、**-171-** の表示をして開局しません、又管内に同一群番号の仲間がないことも確認できます。

通常の呼び出しはPTTを1秒以上押します。

Ⅲ. 機能をセットして受信状態に入れば、同一群番号の UFO96 が管内に入ると音と 表示 -GRP- で知ることが出来ます。

スキャン関係

① スキャンスピード

HOLD + 2 + 1

モニタースキャンのスピードが二段回にかえられます。

② 全モードスキャン

HOLD + 2 + 2

モニターサーチの時、一回りするとモードを一つ進めます、これにより全のモードがつながりサーチを繰り返します。

③ 空CHサーチ

HOLD + 2 + 3

モニタースキャンを空いているCHで止めるようにします。

あくまで、機械の空きCHレベルにより判断しますので、遠く使用している場合、またブレイクタイムの時などは、使用中のCHで止まることもあります。

④ メモリースキャン

HOLD + 2 + 4

C_SCN 1秒表示後、スキャンし始めます。

CHを順番にスキャンするのではなく -10- ⑦ で記憶したCHメモリーを入感あるまでスキャンします。

この時 3 キーと REMOTE キーは CHメモリーを進める

1 キーと SHIFT キーは CHメモリーを戻す

スキャン ストップ中にプレストークすると、そのCHに固定します。

⑤ 指定バンドスキャン (NEW MARI OII)

HOLD + 2 + 5

ON/OFF ※ 指定バンド設定なしで ONすれば 表示 -----

スキャン停止中、CALL + スキャンさせたいバンド 1~8 数字キーにて設定します、表示は待ち受け表示 1. 2. 3. A. B. L. H. P が点滅します、バンド4はA、5はB、6はL、7はH、8はPの点滅になります、設定の時間切れ又は END キーで、スキャンバンドが確定し点灯に変わります

一度指定バンドの設定をして、その機能の ON/OFF

HOLD + 2 + 5

と押して セット -SET- リセット -RST- となります。

※ 注意 スキャン停止中の 指定モードセットは = 指定バンドスキャン、 受信セットは = バンドリコール

リコール関係

① PTTリコール

HOLD + 3 + 1

PTTを握って放した時に、リコールします。

② タイマーリコール

HOLD + 3 + 2

受信中1分おきにリコールします。

③ 多群番一括リコール

HOLD + 3 + 3

待ち受け指定をしている群番号を全てリコールする機能です。待ち受け設定は 9 P ④ を参照して下さい。

④ 切断信号自動リコール

HOLD + 3 + 4

切断信号を受けると自動でリコールします。

⑤ 指定バンドリコール (NEW MARIO II)

HOLD + 3 + 5

ON/OFF ※ 指定バンド設定なしで ONすれば

表示

受信中、CALL + リコールしたいバンド 1~8 数字キーにて設定します、表示は待ち受け

表示 1. 2. 3. A. B. L. H. P が点滅します、バンド4はA、5はB、6はL、7はH、8はPの点滅
なります、設定の時間切れ又は END キーで、リコールするバンドが確定し点灯に変わります。

一度指定バンドの設定をして、その機能の ON/OFF

HOLD + 3 + 5

と押して

セット

-SET-

リセット

-RST-

となります。

※ 注意 スキャン停止中の 指定モードセットは = 指定バンドスキャン。 受信中セットは = バンドリコー
ル

カット・解読

⑥ ATIS信号カット

HOLD + 4 + 1

PTTを握った時、離れた時、1分に1回送信されるATIS信号を止めてしまう機能です。

セットしていても、リコールの時は信号が出るので、呼び出しは出来ます。

⑦ タイマーカット

HOLD + 4 + 2

タイマー動作セットの場合には、15秒間補足状態の後リセットします。
この間に、キー入力があれば受信に入り、各機能を実行します。

⑧ 群番号解読カット

HOLD + 4 + 3

受信したATIS信号の中の、群番号を表示させます。

⑨ 5分間無変調防止機能

HOLD + 4 + 4

機能をセットしてPTTを握り5分経過すると CUT_5 が表示され受信に変わります。

⑩ UFO流れ表示

HOLD + 4 + 5

UFO96の流れ表示を セット/リセットします。

この機能がセットされていると、電源OFF → 30秒 → 電源ON 又はノーマル → スペシャル にした時などに UFO96 が流れ表示され、スペシャルで立ち上がったか、ノーマルで立ち上がったかが判別できます。

リザーブについて

☆ リザーブメモリーの仕組み

リザーブメモリーには、00 ~ 29までのリザーブメモリーNOがついています。リザーブメモリーはそこにデータ（CH. バンド. 群番号）が書き込まれると、自動的にNOを一つ進め次のデータに備えます。

☆ リザーブできるメモリーは30メモリーで31ケ目を入れると最初のメモリーが消えます。但し、同一（CH.

バンド. 群番号）は重複記憶を避けるため ----- を表示して記憶を取り止めます。

☆ リザーブ関係の操作（7. 8. 9. 0キー）をすると、リザーブ表示例 C=02 されます、数字02が現在のリザーブメモリー番号です。

リザーブのキー機能

7 キー 1回目のキータッチでリザーブ表示（上記参照）され現在のリザーブメモリーNOが解ります。この表示中再度7キーを押すとリザーブのメモリーNOが一つづつダウンします。リザーブの群NOを1秒表示後、通常の群番号表示に戻ります。

8 キー 現在のリザーブNOの リザーブCHに移動します、このときバンド. 群番号も合わせて

移行します、リザーブ表示1秒後、リザーブのCHが表示され、その後小窓に R を表示 群 NOがリザーブ群NOであることを示します。

9 キー 7 キーと同様1回目が、現在のリザーブメモリーNO 2回目以後の9キーでリザーブメモリーが1つつつ進みます。

0 キー (1秒以上) 現在のCH、バンド、群番号を現在のリザーブNOが示すメモリーに記憶します。

7 と 9 キーを1秒以上押し続けると、記憶されていないメモリーはとばし記憶されているメモリーだけおをスキャンします。

リザーブに関する機能

① リザーブ群番号での待ち受け

HOLD + 5 + 1

リザーブに記憶された群番号で待ち受けします、メモリー毎の個別の待ち受けはできません。リザーブ群メモリーで呼び出されると群メモリーとリザーブメモリーに同一群番号がある場合は群メモリーで開局されます、この機能は待ち受けに戻るとリセットされます。

② 自動リザーブ

HOLD + 5 + 2

待ち受け中、自動リザーブがセットされていて、同一群番号での呼び出しを受けると空いているリザーブメモリーに記憶して、リザーブ NOを記憶したメモリー + 1にセットします。リザーブメモリーに空きが無いときは、現在のリザーブNOに上書きされます。呼び出されてから15秒後待ち受けに戻ります。

③ 全群番号リザーブ

HOLD + 5 + 3

自動リザーブと全群番号リザーブをセットして待ち受けます。群番号解読した群番号、CH、バンドを次々にリザーブメモリーに記憶します。

④ スペシャルサーチリザーブ

HOLD + 5 + 4

スペシャルサーチと自動リザーブをセットして、モニタースキャンします、入感あるCHで止まり、ATIS信号を待ちます、ATIS信号を受信し自局の群番号と一致すればリザーブメモリーに記憶し再スキャンします。一致しないか、30秒以内ATIS信号が受信出来なかったときは再スキャンします。なおスペシャルサーチはリザーブと組み合わせずに使用すると、入感あるCHで止まり、ATIS信号を受信して群番号が一致すれば、そのCHで固定します。群番号不一致又はATIS信号を受信できなければ再スキャンします。

PTTタイム表示

① PTTタイム表示

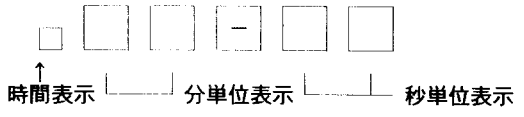
HOLD + 6

ON 表示 T_DSP

OFF 表示 -----

送信中の時間を表示します。(送信側)

この機能をセットしてPTTを握ると、2～4秒後から時間を表示します。



上記表示とともに UFO-96同志で30秒に1度、受信側に上記表示を送ります。

免許番号に関する機能と群番号吸い取り

② 群番号吸い取り

HOLD + HOLD ⇒ 表示 CPY_ + (0~9)

群番号解読時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることが出来ます。コピーしたい群番号が表示されたら、上記の操作を行ないます。但し以前に記憶されていたメモリーは解除されます。

③ 免許番号吸い取り

HOLD + HOLD ⇒ 表示 CPY_ + HOLD

- ⇒ □ 1 B C D
- ⇒ □ 2 2 C D
- ⇒ □ A B C D

受信したATISの免許番号を自局のものにしてしまいます。

吸い取った免許番号を右記のように、3回に分けて表示されます。

④ 自局の免許番号表示

HOLD + HOLD ⇒ 表示 CPY_ + MON

- ⇒ □ 1 1 2 D
- ⇒ □ 1 D 4 5
- ⇒ □ 5 6 2 3

現在使用している、自局の免許番号を表示させる。

⑤ 相手局の免許番号表示

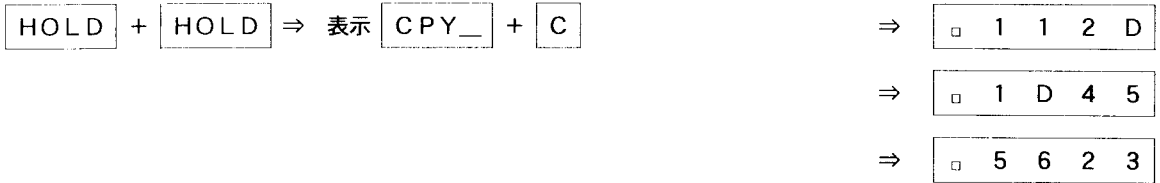
HOLD + HOLD ⇒ 表示 CPY_ + CALL

- ⇒ _ 1 B C D
- ⇒ _ 2 2 C D
- ⇒ _ A B C D

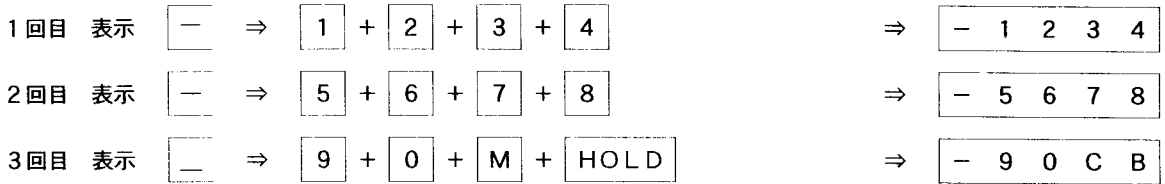
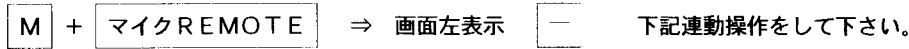
受信した、相手のATIS免許番号を表示させます。

免許番号表示中 左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号
 左小窓 — 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

⑥ 免許番号を自局に戻す

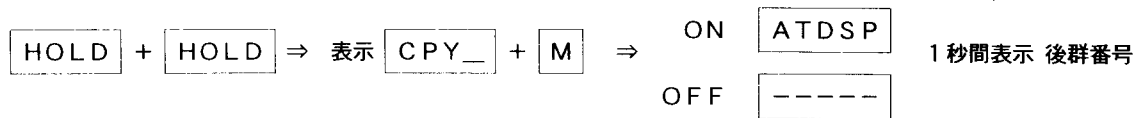


⑦ 免許番号を作る



これで免許番号は 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 C B となりました、キー入力の際のアルファベットは群番号の場合と同じ

⑧ 免許番号の自動表示

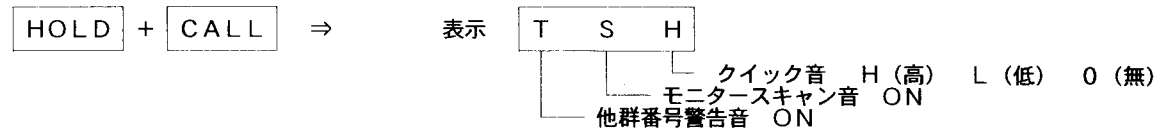


ATIS信号を受けると相手の免許番号を3段階表示して → 元の表示に戻ります。

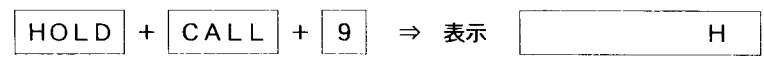
免許番号表示中 左小窓 点滅 ⇒ 申請された免許番号
 左小窓 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

音とノーマル機能

① 音 T S H



② 動作音の変更 大



動作音を大きくします。

③ 動作音の変更 小・無し



④ モニタースキャン音

HOLD + **CALL** + **0** S がついて ON、 S 消えて OFF

モニタースキャン音 ON / OFF

⑤ 他群番号警告音

HOLD + **CALL** + **C** T がついて ON、 T 消えて OFF

他群番号警告音 ON / OFF

⑥ 送信出、受信の低下 (詳しくはノーマル取説参照)

HOLD + **CALL** + **1** ⇒ 送信出力を0.2W、受信感度を14DB低下します。

再度、**HOLD**+**CALL**+**1** ⇒ 送信出力を0.2Wのまま、受信感度を元に戻す。

再度、**HOLD**+**CALL**+**1** ⇒ 送信出力、受信感度を元に戻す。

⑦ 通話モード切り替え

HOLD + **CALL** + **2** ⇒ 表示 80CHモードに設定

再度、**HOLD**+**CALL**+**2** ⇒ 1MIN表示 1分間通話モードに設定

再度、**HOLD**+**CALL**+**2** ⇒ LOCAL表示 ローカルモードに設定

再度、**HOLD**+**CALL**+**2** ⇒ 1MIN、LOCAL表示 1分通話のローカルモード

再度、**HOLD**+**CALL**+**2** ⇒ 表示なし 158CHに設定

⑧ 80CH / 158CH切り替え

HOLD + **CALL** + **3** 80 / 158 CH切り替え

⑨ フィバーゲーム

HOLD + **CALL** + **4** ⇒ 表示 **- 9 9 9 -**

PTTを押すごとにスタート ⇄ ストップします。終了はENDキーを押してください。

⑩ PA

HOLD + **CALL** + **5** ⇒ 表示 **P A _**

外部スピーカーをつながないと、音が出ません。終了はENDキーを押してください。

⑪ 業務的拡声器

HOLD + **CALL** + **6** ⇒ 点滅表示 **V U**

リセット中、上記の操作をしておくと、着信時外部スピーカーから音声が出てきます。

PTTを握ると、内部スピーカーに切り替わります。工事現場、運送業などで使用すれば便利です。

⑫ ストップウォッチ

HOLD + **CALL** + **7** ⇒ 表示 **0 0 0 0 0**

PTT = スタート ⇔ スタート 操作です。REMOTEはラップタイム、のクリアーです。

終了は END キーです。

⑬ 目覚ましアラーム

HOLD + **CALL** + **8** ⇒ 表示 **-**

設定時間よりカウントダウンし、時間になると音で知らせます。

例) 1時間30分後に設定し鳴らすには

C + **0** + **1** + **3** + **0** ⇒ 表示 **1 - 3 0**

1分づつカウントし、タイムアップすると、アラームが15秒間づつ高音と中音の交互に音を変化させていきます。

マイクENDキー以外のキーを押すと、アラームが一時的に止まりました、5分後に鳴り始めます。終了はマイクの

ENDキーを押して下さい。

⑭ 切断信号の送受

HOLD + **CALL** + **CALL** ⇒ 表示 **CT-ON** 再度 同じ動作で **CT-OFF**

この機能をセットして、受信状態からリセットすると、切断信号を送出します。又受信時切断信号を受けると自動的にリセットします。

UFO 特殊機能 説明

① クロスバンド通信

HOLD + **SHIFT** + **2** + **3** (リコール可) ⇒ **C R - 2 3**

同一CHの交信だが、送信と受信がおたがいに違うモードで通話する機能です。他人にモニターされても片方の音声しか受信されません。HOLD+SHIFTに続く第一数字は送信のモードで、第二数字は受信モードとなります。

相手側は、自動開局出来ますので、リセットで待ち受けして下さい。上記の操作は送信が地下2F、受信が地下3Fで相手側は、その逆となります。CHは自動でセットされます。この時リコールは、立ち上がったモードにリコールをします。もちろんトーン付き群番号ですので特定の局しか開きません。交信途中で、群番号、CHが変更可能です。

② トーンスケルチ通信

HOLD + **SHIFT** + **5** (リコール可) ⇒ **T S - 5**

ここで言うトーンスケルチとは、群番号とトーンとが一致していなければ、Sメーターが振れていても、相手の音声がかえり聞かない機能、特定の人しか聞かないので、業務用としても大変便利です。モニター中、通話中にも機能が設定出来ます。設定直後は普通の受信、PTT ON又はトーンスケルチ信号で、トーンスケルチが作動します。

トーンスケルチ中 **MON** キーを押すと、普通の受信 (SQ解除) となり、さらに **MON** キーを押すと、トーンスケルチが動作します。最後にセットした群番号が有効で、お互いがCHと群番号を入れ替える事も出来ます。

③ トーンスケルチ・クロスバンド通信

HOLD + **SHIFT** + **6** + **9** (リコール可) ⇒ **T S - 6 9**

あらかじめお互いの、CHメモリーを同一にしておきます。上記例は (M6とM9のCHメモリーです)

HOLD+SHIFTに続く第一数字は、送信モードとCH、第二数字は受信モードとCHを表します。相手側は、リコールされれば、その反対が自動でセットされます。メモリーCHは6~9の間を選んで下さい。途中で群番号の変更可能です、この機能は自動的にトーンスケルチが働きます。

④ UFO通信 (シングルバンド)

HOLD + **SHIFT** + **SHIFT** (リコール可) ⇒ **U F O - S**

UFO通信では、相手局のATIS信号を受信後、2度目PTT OFF時に全局がランダムにCH移動します。ATIS信号を受けない時は4度目のPTT OFF時に移動します。電波が弱い時や障害があった時CHが移動しない時もあります。電波の弱い時は1回づつでローテーションすればCH移動しません。移動にはぐれた局は、リセットをして、リコールを待って下さい。この機能中、同一機種でも群番号解読はされないのと、トーン付きリコールなので余計な人をリコールしません。途中で群番号、CH、モードを変更出来ます。

※ 濁ったATIS信号を受けた時PTTがON出来ない時があります。 **MON** キーを押して解除して下さい。

⑤ UFO通信 (ダブルバンド)

HOLD + **SHIFT** + **REMOTE** (リコール可) ⇒ **U F O - D**

④は同一モードでしたが、この操作は、地下1F ⇔ 2Fをランダムに移動します。どのモードでリセットしても1回のリコールで開局します。

⑥ UFO通信 (フォースバンド)

HOLD + **SHIFT** + **PTT** (リコール可) ⇒ **U F O - F**

⑤と同様ですが、モードが地下1F ⇔ 地下4Fをランダム移動します。

HOLDを離れた 特殊機能 説明

① スペース・シャトル

SHIFT + HOLD ⇒ 表示 A _____ ⇒ S-P-S + PTT

まず仲間同志 CHメモリー 1～9をそろえます。

送信側 SHIFT + HOLD ⇒ 表示 S-P-S + PTT で各メモリーを約1.5秒間隔で
回りだします。受信側は リセットで待ち受けます。

※ 交信中 リコール可能、仲間を呼び込む事も出来る。交信相手が迷った場合でも1周目の始めに 自動リコールするので
迷ったら、リセット状態にして待って下さい。

小窓の1～9の数字はどのCHメモリーで送受信しているかを確認出来ます。1.5秒間隔でCH移動しますので
他局に通話内容を傍受されにくくなります。

② ボイジャー

SHIFT + MON ⇒ 表示 A _____ ⇒ B-Y-J + PTT

スペース・シャトルと同じですが、あらかじめCHはメモリーされているので、呼び出しの群番号をそろえておけば、
準備完了です。

送信側 SHIFT + MON ⇒ 表示 B-Y-J + PTT

受信側は リセットで待ち受けます。

出荷時に記憶されている40CHを約1.5秒間隔で回りだします。小窓には表示はありません。リコールに関して
はスペース・シャトルと同じです。

③ アポロ機能

通話中に全局がCH移動する機能です。送信中に操作して下さい。

(1) アポロ I

送信中に マイクEND キーを押す ⇒ 表示 APPOL 1秒表示後 ⇒ 例 2 111 モード1と2
を上記の操作をするたびに、ランダムにCH移動します。

(2) アポロ II

送信中に 本体 END キーを押す ⇒ 表示 APPOL 1秒表示後群番号。左記動作後、約10秒間で
上記のモード1と2をランダムにCH移動し、その後も10秒間隔でQSYをし続けます。

④ ポケットベル機能

普通の交信と違い、ATIS信号のやりとりと考えて下さい。群番号は 1～9まで入ります、3種類のアラーム音が
受け付け側に鳴ります。信号を受け付けたら BEL ? (メモリーNO) を表示し、20秒間アラームが鳴り、
20秒後ストップウォッチがスタートし、最大9分59秒まで表示します。

※ 群番号をメモリーする際、相手局と群番号を合わせて下さい。又 1MIN・LOCAL時は動作しません。

例) お互いメモリー6を 12345にします。

(1) 送信側

M + C + 6 ⇒ BEL 6 表示後、自動発呼します。

(2) 受信側 ⇒ リセット中 呼び出されたら

3 B E L 6

上記表示左側の3は、アラーム3表示、 上記表示右側の6は群メモリー6

(3) 送信側 ⇒ 相手局が受け付けたら

C A T C H を表示します、リセットして下さい。

相手局が受け付け無ければ、7秒おきに10分間自動リコールします。10分過ぎれば、リセットします。

(4) 待ち受け側 ⇒ 呼び出され、20秒過ぎれば

6 2 1 2 3 0

メモリー6で、着信後、21分、23秒



メモリーCH1. 4. 7. は、アラーム 1の音
メモリーCH2. 5. 8. は、アラーム 2の音
メモリーCH3. 6. 9. は、アラーム 3の音

その他 スペシャル機能

① 逆モニタースキャン

1 キーと SHIFT キー ⇒ 1CHダウン、その後1秒以上押すと入感あるまで、逆スキャンします

3 キーと REMOTE キー ⇒ 上記の逆です。

モニター中、全てのキーを押すことにより、モニターストップ出来ます。

② 使用CH表示

受信中 SHIFT キーを約2秒以上押し続けます。

表示例) 25_CH

80CH中、25使用CHがある表示。

③ PTT中一時PA

送信中に マイクSHIFT を押すと拡声器となり、PTTを放すと通話状態に戻ります。

※ 外部拡声器を取り付けて使用して下さい。

④ 群番号表示とCH表示の切り替え

0 キーをチョイ押しすると、現在表示の逆表示（群番号なら ⇒ CH表示）をして3秒後にもとの表示に戻ります。

⑤ CBロック機能

☆ CBメモリーの設定

設定したい CH. バンド. 群番号にしてから HOLD + MON ⇒ 表示 C B S E T

※ その後CBロックをかけると、常に上記のメモリーでロックされます。

☆ CBロック HOLD + M (ON/OFF は左動作繰り返し) 鍵マーク点灯でロックON

操 作 ポ ー ト

☆ キーボード

1 CH ダウン 1 1秒以上で逆スキャン	バンド ダウン 2 縦 正 スキャン	1 CH アップ 3 1秒以上で正スキャン
ハーフ ダウン 4	バンド ダウン 5 縦 逆 スキャン	ハーフ アップ 6
7 リザーブ 戻し	8 リザーブ 呼び出し	9 リザーブ 進める
群番号 ↔ CH 0 1秒以上リザーブ M	C	M

☆ マイク キー

リセット中 ⇒	R ⇒	メモリー群番アップ
モニター中 ⇒	E ⇒	1 CH アップ
通 話 中 ⇒	M ⇒	リ コ ー ル
送 信 中 ⇒	O ⇒	リ コ ー ル
HOLD+SHIFT ⇒	T ⇒	UFO 通信 ダブル
	E	

リセット中 ⇒	S ⇒	プライオリティー
モニター中 ⇒	H ⇒	1 CH ダウン
通 話 中 ⇒	I ⇒	プライオリティー
送 信 中 ⇒	F ⇒	PTTPA 拡声器
HOLD ⇒	T ⇒	SHIFT 各機能
HOLD+SHIFT ⇒		UFO 単通信 ON

リセット中 ⇒	R ⇒	メモリー群番ダウン
モニター中 ⇒	E ⇒	リ セ ッ ト
通 話 中 ⇒	M ⇒	リ セ ッ ト
通 信 中 ⇒	O ⇒	アポロ I 機能

☆ キー 機 能

S 待ち受けのセット ON / OFF

待ち受け中 SHIFT キーを押しながら数字キー 1~9を押して ON/OFF

※ 数字又はアルファベットが点灯してON